

# まちの話 だい

## 10月8日 | 心のバリアフリー化を

社会福祉協議会が主催する「ふれあい広場」がプラザおおりで開催され、多くの市民が訪れました。

39回目を迎えた今回は、筆談・点字・手話教室のほか、小中学生による1日社協会長体験や、恒例の赤ちゃんハイハイレースなどが行われました。この日は、子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず誰もが楽しくふれあい、福祉への理解を深めました。



## 10月20日 | カッコいい機関車集合

秋晴れの下、大井川鐵道新金谷駅で「SLフェスタ in 新金谷」が開催され、多くの鉄道ファンや家族連れでにぎわいました。

「きかんしゃ大集合」では、蒸気・電気・ディーゼルの機関車の計5両が初めてそろい、観客を魅了しました。他にも、犬釘打ち体験や中井精也氏の写真教室など、普段はできない体験に、子どもたちは目を輝かせていました。

## 11月2日 | バラの香りに包まれて

ばらの丘公園で秋バラが見頃を迎え、11月11日まで「ばらの丘フェスティバル」が開催されました。

園内では約8,700株のバラを植栽。この秋は台風の影響で落花があり、開花が少し遅れたものの、無事に花を咲かせてくれました。期間中はマーチングバンドや吹奏楽団のコンサート、オーストリアの陶芸家オタカ・スリバ氏による陶芸教室などのアトラクションも行われました。







## 10月20日 | 秋の味覚を楽しみに

六合地区で活動する子育て団体「あい愛サロン」が、地区の親子を募ったイモ掘りを行いました。

参加した33人は、爽やかな秋晴れの下、東町の畑でサツマイモ収穫を体験。子どもたちは、大きく育ったイモを友達や家族と協力して掘り出し、大物を掘り当てた時には、誇らしそうに友達と見せ合っていました。収穫したサツマイモは、それぞれ袋に詰め、お土産として家庭へ持ち帰りました。

## 10月8日 | 伝統を継ぐ可れんな舞

江戸時代から旧初地区に伝わる「おせん女踊り<sup>じょ</sup>」が、同地区の天王神社の秋祭りで奉納されました。

この踊りは、かつて機織りの娘「お仙」が、旅人の労をねぎらい地元のお茶でもてなした姿を表現したものです。今年は初倉小学校の女子児童13人が踊り子として参加。色鮮やかな花笠や衣装を身にまとして踊りを披露し、その堂々とした姿に観客から大きな拍手が送られていました。



## 10月11日 | 郷土の文化を学ぶ

島田第四小学校体育館で、島田大祭保存会による「島田大祭出前講座」が開かれました。

この講座は、島田の伝統文化を調べる総合学習の一環として実施。3年生の児童73人が、大祭の成り立ちや大名行列、衣装や道具などについて学びました。講座の後半には、保存会による実演やおおとりげ<sup>お</sup>・はさみばこ<sup>は</sup>などの道具に触れる体験もあり、児童たちはその重さや大きさに驚いていました。